

# 評価細目の第三者評価結果

## （保育所、地域型保育事業）

### I 福祉サービスの基本方針と組織

#### I-1 理念・基本方針

	第三者評価結果	コメント
I-1-1 (1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-1-1-1 ① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a ・理念・基本方針は「ホームページ」「入園のしおり」にわかりやすく記載され周知を図っている。 ・さらに園は理念追及のためグランドデザイン(全体構想)を作成し、分野別に園が目指す方向性が記載され誰もが一目瞭然に理解できるようにしている。

#### I-2 経営状況の把握

	第三者評価結果	コメント
I-2-1 (1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-1-1-1 ① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a ・法人は県内外含め5園を運営し地域情勢を踏まえた上で経営状況の分析を行っている。 ・園長は川口市の園長会議にて状況・動向の把握に努めている。
3	I-2-1-1-2 ② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a ・園の自己評価・運営委員会・福祉サービス第三者評価などから課題を抽出し、さらに客観的視点から状況を把握するなど積極的に組織力を高めるよう努めている。

#### I-3 事業計画の策定

	第三者評価結果	コメント
I-3-1 (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-1-1-1 ① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a ・中長期計画の他にグランドデザインを策定しており「目指す保育園」・「目指す保育士像」・「目指す子ども像」他分野別で分かりやすく表記され運営の基としている。
5	I-3-1-1-2 ② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a ・計画は中長期計画を基に園自己評価・職員会議での意見・保護者運営委員会・保護者アンケートなどと併せて策定している。 ・開設8年目を迎え、保育の質の向上に努めることを掲げ改めて認可保育園の役割を見直している。
I-3-1 (2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-1-2-1 ① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b ・毎年、運営委員会・職員説明会を行い理解を促している。 ・園は職員に対して園の方針・全体の保育について説明し理解を深める様努めている。 さらに職員全員が深く理解できるよう期待したい。
7	I-3-1-2-2 ② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a ・入園説明会にて多くの利用者に理解していただけるよう努めている。 ・運営委員会では各評価や取組を保護者へ説明し、さらに理解していただけるよう努めている。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果	コメント
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。			
8	I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉サービス第三者評価を受審することで個人として組織として振り返りを行い、園として質の向上に向け積極的に第三者の評価を受け入れようとする姿勢があった。</li> <li>・毎日職員は午睡の時間にアセスメントを共有し、柔軟な計画の変更や情報の交換が積極的に行われていた。</li> </ul>
9	I-4-(1)-② 評価結果に基づき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価シートから課題と取組を抽出し、今後の目標を策定している。</li> <li>・自己評価後、気づきと振り返りの書式にはコロナ感染の予防・行事の見直し・保育のあり方、それに対する保育の取組みや今後の目標が細かく記載されている。</li> </ul>

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果	コメント
II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。			
10	II-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育マニュアルには「施設長の責務」として「自己評価を踏まえ、協力して改善に努めることのできる体制作り」「職員の自己研鑽に対する助言」を明記し理解に努めている。</li> <li>・今年度はリーダーシップのあり方の見直しなどし、より多くの職員の考えを園運営に反映している最中である。</li> </ul>
11	II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・税理士・社労士から適格なアドバイスを受け運営を行っている。</li> <li>・虐待防止・個人情報保護・ハラスメント規定などを会議などで周知している。</li> </ul>
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
12	II-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長は「まごころ」を策定し保育士としての心構え・求める保育士像・組織としての心構えを職員へ伝え園全体で取り組もうと努めている。</li> </ul>
13	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	b	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長は副園長・事務長・税理士・社労士と相談しながら適切な運営に努めている。</li> <li>・ICTを導入し業務効率を高め、職員同士の共有も迅速に行えるようにしている。</li> </ul>

II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果	コメント
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。			
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画書には入社1年目・2年目・3年目と題しそれぞれの到達したい事項が記載され個人の目標を立てやすくしている。</li> <li>・年度当初より保育負担軽減のため基準以上の配置を行い支援の必要な子どもに対応している。</li> <li>・人材確保はハローワーク・ホームページで随時募集を行っている。</li> </ul>
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	b	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給与規定では職務特殊手当「主任」「副主任」「主担当統括メンター」「年齢毎主担当」「フードマイスター」「クリーンマイスター」を定めている。</li> </ul>

II-2-2(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-2(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b ・副園長は職員会議や日頃の会話から職員の意向を聞きシフト作成や働きやすい環境作りに努めている。 ・子育て中の職員にはシフトを配慮するなどしている。
II-2-2(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-2(3)-① 職員一人一人の育成に向けた取組を行っている。	b ・今年度は個別の自己評価を行い職員一人ひとりの課題を抽出し目標設定する予定である。 ・園長は一人ひとりの課題を把握し、適宜伝える事に努めている。
18	II-2-2(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a ・目指す保育士像はグランドデザインに記載されており、研修については事業計画に予定・方法・役割などが記載され職員にわかりやすく提示している。
19	II-2-2(3)-③ 職員一人一人の教育・研修の機会が確保されている。	b ・オンライン研修の利点などを活かし職員全員の底上げを期待します。また、園は職員のさらなる専門性の追及に積極的に努めることを期待します。
II-2-2(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	II-2-2(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a ・実習前にオリエンテーションを行い理念・方針・注意事項を伝え、実習生としてだけでなく保育者として子どもに接することができるよう努めている。 ・実習生受入れ要項・プログラムに沿い、主任が担当者としてつき計画的に行われている。 ・担当職員は実習生と日々の振り返り課題を明確にし、より深い子ども理解に繋がる実習になるよう努めている。

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果	コメント
II-3-1(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。			
21	II-3-1(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	・ホームページに理念・方針・苦情への対応など情報公開している。 ・福祉サービス第三者評価を受審し、定期的な運営の情報公開を積極的に行っている。 ・毎年3月の運営委員会では「園経営・園運営」「保育について(行事評価・保育評価)」「苦情処理・ヒヤリハット・事項報告」「来年度に向けて」を報告している。
22	II-3-1(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	・毎年3月の運営委員会では「園経営・園運営」「保育について(行事評価・保育評価)」「苦情処理・ヒヤリハット・事項報告」「来年度に向けて」を報告している。規定には帳簿から決算・税務に関して規定されており、経理規程取扱い要綱には小口・決算制限が記載されている。 また、これらの見直しは随時行われている。 ・法人は税理士・社労士と共に経営把握し、外部の専門化による監査支援や経営改善を実施している。 ・福祉サービス第三者評価を受審し、定期的な運営の情報公開を積極的に行っている。

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

	第三者評価結果	コメント
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a ・コロナ禍で積極的な交流は控えているが、職員は公園の行き帰りや公園で出会った人に自ら積極的に挨拶を行い、子ども達の見本になっていた。 ・子ども達は元気に大きな声で挨拶し、道行く人から声をかけてもらっていた。 ・園長は継続的に支援が必要と思われる卒園児やご家族に声をかけ、必要な時には訪問しあたたかい支援を行っている。 ・運動会を地域の公園で行っている。
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a ・コロナ禍のためボランティアの受入れは行っていない。 ・例年、中学生の職場体験実習を受け入れているが、コロナ禍のためやむなく見送っている。
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a ・園長は行政と相談・意見交換など密に連携をとっている。 ・園正面にAED設置を明示し、地域住民への活用を促している。
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a ・園長は行政・自治会長・自治会副会長へ自ら出向き情報交換をしている。
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等に基づく公益的な事業・活動が行われている。	a ・コロナ禍で控えているが通年は職場体験・介護施設の行事参加など積極的に地域との交流を図っていた。 ・地域に役立つものとして「子育て支援アドバイス」「園の紹介」などの通信を自治会に回覧していきたい意向がある。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a ・全体計画・事業計画・入園のしおりなど「一人ひとりを大切にする」方針が記載され職員が忘れないよう常に目に触れられるようにしている。
29	Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a ・個人情報保護規定・個人情報保護方針が策定され、それを基に職員会議や入職時に説明し、職員に徹底されている。 ・入園時説明会で保護者に説明している。
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	a ・利用希望者の園見学は随時受け入れをし、保育公開資料を用い理念・方針・一日の流れ・用意する物・クラス紹介・園全体で大切にしている事など丁寧に分かりやすく説明している。
31	Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更に当たり利用者等に分かりやすく説明している。	a ・入園時のしおりには方針・年齢別の目標・緊急時のルール・服装の注意点・退園や届け出のルール・個人情報やプライバシー保護に至るまで園に通園するためのすべてが網羅され利用者が困らないような内容にしている。

32	Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等に当たり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長・副園長が窓口となり移行先へ「育ちの記録」を送付し継続した保育や支援が行われるよう体制が整備されている。</li> <li>・園長は支援が必要な子どもが卒園した場合継続して支援を行っている。</li> </ul>
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。			
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から降園時の保護者からの会話を基に要望や意見を聞き、職員間で話合っている。</li> <li>・さらに運営委員会・懇談会・福祉サービス第三者評価・独自アンケートなど多数の機会からも意見を聞くなどしている。</li> </ul>
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情処理対応マニュアルには責任者・解決方法・話し合いの仕方・第三者立ち合いなど細かく記載され円満で迅速な解決が進められる内容になっている。</li> <li>・また苦情対応についてホームページに詳しく記載されている。</li> </ul>
35	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・降園時に保護者へ「最近何かお困りの事はありませんか」などと声をかけ積極的に相談しやすい環境を作っている。</li> <li>・運営委員会・懇談会・ICT・保護者アンケート・福祉サービス第三者評価保護者アンケートなど意見を述べやすい環境を複数整備している。</li> </ul>
36	Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からの話は小さな事でも朝礼や午睡中に全職員で共有し、迅速に対応していた。</li> </ul>
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。			
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告書は災害の種類によって避難の仕方や重要点が違うことを理解し、災害などの想定を深く掘り下げ話し合い細かく鋭い指摘があり、次の避難訓練の具体的課題が明記されている。</li> <li>・園は公園遊びを多く取り入れているため特に落雷のリスクについて重要視し、各公園別の避難場所・方法など細かく想定されている。</li> <li>・さらに雨雲レーダーをチェックできるよう携帯電話を持参している。</li> <li>・公園外遊びでは到着時に職員1名が子どもを待機させ他の職員が公園全体を見回り、遊具を拭き上げながら安全チェックをしていた。</li> </ul>
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての窓を10cm程開け、空気の流れを作っていた。2時間毎の定期消毒でドアノブ・子どもの椅子の持ち手に至るまで丁寧に行うなど感染症予防の対策を行っている。</li> <li>・マニュアルには感染症が発生した場合の確認事項が時系列にまとめられ職員が実施しやすいものとなっている。</li> <li>・感染症が発生した場合は、当日中に保護者へICTを使用し知らせている。</li> </ul>
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火災・地震・風水害・落雷時等の指揮系統や配置がマニュアルに具体的に記載され、万が一の場合に備えて迅速かつ的確な行動が取れるようになっている。</li> </ul>

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。			
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各年齢ごとのマニュアルは発達過程におけるポイントが詳細かつ丁寧に記載され、保育士が適確に確認ができるようになっている。</li> <li>・副園長はマニュアルは当該年度、特に必要と思われることを中心に読み合わせを行い、職員間で誤差が生じないよう努めている。</li> </ul>
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルの改訂は時期を待たずにタイムリーに行っている。</li> </ul>
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。			
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画(個別支援計画)を適切に策定している。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童票を作成後、複数の職員の意見を合わせ個別支援計画を策定している。</li> <li>・根拠となる児童票には子どもの目標・詳細な育ちが記録され計画の基となっている。</li> </ul>
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に福祉サービス実施計画(個別支援計画)の評価・見直しを行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から午睡中に職員間で保育内容を話し合い振り返りを行っている。</li> <li>・達成できない事項についてはスモールステップで達成できるように目標・支援方法を見直している。</li> </ul>
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。			
44	Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況(個別支援計画)の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書式は発達のねらい(発達を捉える視点)・幼児期の終わりまでに育ってほしい姿などが明記されている。</li> <li>・ポイントに沿って記載ができる書式を用いて職員間で記録内容の差が出ない様になっている。</li> </ul>
45	Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政規定を順守し、着実に記録・保管・管理を行っている。</li> </ul>

A 個別評価基準

A-1 保育内容

	第三者評価結果	コメント	
A-1-(1) 全体的な計画の作成			
46	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体計画書には方針・理念が記載されており、それを念頭に入れて細部な計画を策定している。</li> <li>・保育園が小学校以降の生活や学習の基盤となる旨が記載され、単に2歳児・3歳児のような1歳ごとの保育にとらわれずその先も視野に入れることの重要性をも入れ込んである計画書になっている。</li> </ul>
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開			
47	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地良く過ごすことのできる環境を整備している。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各保育室に指標を掲示し、遵守できるように温度・湿度・換気の目安を定め積極的に環境整備に取り組んでいる。</li> <li>・マットや遊具も含め各部屋が整理され空気の流れも十分にあり、心地よく過ごすための環境作りに努めていた。</li> </ul>
48	A-1-(2)-② 一人一人の子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・0歳児や体調が優れない子どもなどは午前寝を取り入れたり、午睡時間を長くするなど個別に対応している。</li> <li>・せかす・抑制する・単語のみ・受容しない言葉を年齢ごとの具体例にまとめ職員が使用しないように毎年、職員全員で読み合せ確認している。</li> <li>・各家庭からの注意すべき内容がある場合、毎朝の朝礼で共有が行われている。</li> </ul>

49	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身に付けることができる環境の整備、援助を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各年代により細かい基準を設け支援している。</li> <li>・さらに園では小学校以降の生活の基盤となる保育園の期間を重要と考え、全体的には交通マナー・近隣の人との挨拶・自分の思いを言葉で伝えることを大切にしている。</li> </ul>
50	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園は主体的に活動ができるには一人ひとり苦手意識を持たないようにする事が重要と考えている。</li> <li>運動では日常遊びの中で「鉄棒」「マット」「走る」を取り入れ運動会に繋げている。</li> <li>スピーチでは一人ひとり意思表示ができるよう毎朝当番制でスピーチタイムを設け、職員は話がしやすいよう質問しながらサポートしていた。</li> <li>また聞いていた子ども達は質問や色々な意見を言っている様子が見られた。</li> </ul>
51	A-1-(2)-⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭での愛称と同じ呼び方をし、子どもが家庭と同じように安心して過ごせるようにしていた。</li> <li>・英語・体力作りの年間計画があり生活の中で触れさせている。</li> <li>・職員は公園でシートを敷き、子どもは落ち葉を触り、一人ひとりとゆっくりと話をしていた。</li> <li>・朝の体操の時は園全体で行い、年長の子どもの真似や自ら体を揺らす、声を出すなど見られ年齢を超えた環境にしている。</li> <li>・頻繁に家庭と連絡を取り離乳食の進め方など家庭での状況を確認している。</li> </ul>
52	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達の違いがあるトイレトレーニング・箸の扱いは家庭と連絡をとりながら丁寧に一人ひとり進めている。</li> <li>・トイレトレーニングはトイレへ誘う・オムツの中にパンツをはき濡れる感覚を体験する・ごほうびシールを貼るなど段階に応じて子どもが興味・関心・達成感を感じながら進められるような支援をしている。</li> <li>・公園での外遊びは、行く前に交通ルールを話し合い、到着後は自然と触れるように職員は色々な質問や声掛けをし、興味関心を広げていた。</li> </ul>
53	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校への接続を重要と捉え、苦手意識が形成しないよう「自分の思いを言葉で表現するスピーチ活動・作文作り」「体力作りのための5分間走・跳び箱・マット・鉄棒」多様な世界を感じられるよう身近な数字や歌などで英語で数字や歌などを歌っている。</li> <li>例えば5分間走は徐々に時間を伸ばし、一気に走るのではなくペースを維持し走り切ることが大事と伝え、子どもたちが達成感を感じられるようにしている。</li> </ul>
54	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士は気持ちが混乱している子どもを全身で受け止め、話を十分に聞き、ゆっくり語りかけ、根気強く対応していた。(子どもはゆっくりと穏やかになっていった)</li> <li>・散歩・外遊び時は保育士が必ず手を繋ぎサポートしていた。</li> </ul>

55	A-1-(2)-⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任は延長保育担当者にホワイトボードに記入し特記事項や保護者伝達事項を伝え、確実な申し送りを行っている。</li> <li>・早朝保育の子どもには水分補給・午前寝を必要に応じて行っている。</li> <li>・延長保育利用の子どもにはおやつ・水分補給を行っている。</li> </ul>
56	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長は小学校教諭の経験から小学校への接続の重要性を痛感しており、園では就学を見通した様々な取組を行っている。</li> <li>・5歳児1月から午睡を取り止め、一人ひとりの興味や習熟度に合わせひらながや数字など学習している。</li> <li>・園独自として「自分の意思を伝える」「英語」「運動」などカリキュラムを年代ごとに計画し、評価反省がなされている。</li> </ul>
A-1-(3) 健康管理			
57	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間保健計画には毎月の目標や留意点が掲載され季節に応じた予防・対応・早期発見に努めている。</li> <li>・受入れの際にケガ・湿疹など身体の様子を確認し普段とは違った子どもには職員で共有し、必要があれば速やかに保護者へ連絡をしている。</li> <li>・その日の体調により乳製品からお茶へ変更したり、食べ進み具合で量も常に相談している。</li> </ul>
58	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが「健康」「体」に興味関心が持てるように体や歯の絵本を読み聞かせしている。</li> <li>・健康カードで園と保護者が結果を共有している。</li> <li>・虫歯等があれば歯科を受診するよう促している。</li> </ul>
59	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギー疾患のある子どもについて事前に保護者に献立を配布し食材チェックを依頼している。</li> <li>・栄養士は毎朝朝礼で除去食内容を保育士へ伝え全員で共有している。</li> <li>・提供時、保育士は栄養士から普通食からの食材変更を聞き、直接受取確認を行っている。</li> <li>・提供トレイは色分けし視覚的にも注意できるようにしている。</li> </ul>
A-1-(4) 食事			
60	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士はメニューを楽しそうに発表し、材料あてクイズをしたり、何が隠れているか子どもとゲーム感覚で確認するなど楽しく食べられるよう雰囲気や言葉かけを工夫している。</li> <li>・0・1・2歳児のエプロンにこぼしてしまう子に「エプロンが食べちゃうよ」などと声掛けを工夫している。</li> </ul>
61	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理はチェックシートで毎日管理しており、栄養士は残食簿・検食簿の内容分析・保育室を周り喫食状況を確認し翌月のメニューや調理方法に反映させている。</li> <li>・また栄養士は月1回の給食会議で状況の共有の他、食器の返却がいつもより遅いなど、さらに詳しく子どもたちの様子を保育士に確認し、次の調理に活かしている。</li> <li>・給食の写真や摂取量もICTで提示している。</li> </ul>

A-2 子育て支援

		第三者評価結果	コメント
A-2-(1) 家庭との緊密な連携			
62	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・降園時に積極的に声を掛け保護者が話しかけやすい雰囲気作りに配慮している。</li> <li>・保育士は保護者に家庭での生活の様子・好きな遊び・トイレ・箸・離乳食の進み具合など生活習慣や進み具合を聞き、共有・連携し保育に活かしている。</li> </ul>
A-2-(2) 保護者等の支援			
63	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃、職員は保護者へ降園時積極的に声を掛け相談しやすい雰囲気作りに努めている。</li> <li>・保護者からは「相談しやすい」「直ぐに対応してくれる」「安心できる」など声が聞かれた。</li> <li>・栄養士は自ら保護者へ声を掛け食に関する相談を気さくにしてもらえるよう努めている。</li> <li>・また、保護者へ参考にしてもらいたい簡単レシピや旬の食べ物情報を提供し、毎日の家庭の食事に活かせる通信など今後、発信していきたい意向がある。</li> </ul>
64	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルは基本概念・保育園の役割・発見のポイント・虐待が疑われる際の対応方法などを分かりやすく策定されている。</li> <li>・保育士は登園時の視診・オムツ交換・衣服の着脱の際に体に異変がないか確認し早期発見に努めている。</li> <li>・保護者がいつもと変わった様子の際には「体調どうですか？」と声掛けをしている。</li> </ul>

A-3 保育の質の向上

		第三者評価結果	コメント
A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)			
65	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の保育を振り返り午睡の時間に保育士同士話し合い改善に努めている。</li> <li>・今年度、保育士自己評価の実施が計画され課題抽出や専門性の向上へ向けて予定されている。</li> </ul>